

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

チロシンキナーゼ阻害剤（TKI）使用慢性骨髄性白血病患者における有効性と安全性の後方視的解析

【目的】

2000年にチロシンキナーゼ阻害剤（TKI）であるイマチニブが登場し、慢性骨髄性白血病の予後は著明に改善していると予想されています。その一方で、一部の患者さんでTKIの服用が中止できることが示唆されていますが、依然多くの患者さんで長期間服用されており、近年、副作用の発症が生存にも影響することが報告されつつあります。

現在イマチニブ以外にもニロチニブ、ダサチニブ、およびボスチニブが使用可能ですが、それぞれ固有の副作用の発症が認められています。しかし、特に本邦の実臨床における長期の有効性、安全性に関してはほとんど分かっていません。そのため、慢性骨髄性白血病共同研究グループ CML-cooperative study group (CML-CSG)ではTKIの安全な使用法について、TKIを使用した際の有効性、安全性を解析し明らかにすることを目的とします。

【対象】

2000年1月1日～2016年10月31日までにチロシンキナーゼ阻害剤を服用した方

【方法】

治療内容や治療効果、検査結果などについて、診療記録より当院研究担当医師が調査用紙に入力し、埼玉医科大学総合医療センター血液内科へメールにて送付します。

送付された情報を研究代表機関で解析し、学会発表や論文として公表されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（発病時年齢、病型、治療内容、治療期間、治療効果判定、有害事象の詳細、採血、骨髄検査、染色体検査、胸部レントゲン、心電図、超音波検査、CT検査の結果 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2017年12月31日まで

【研究組織】

慢性骨髄性白血病共同研究グループ

研究参加施設

埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、順天堂大学医学部附属浦安病院
順天堂大学医学部附属練馬病院、日本大学医学部附属板橋病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院
横浜市立市民病院、済生会横浜市南部病院、熊本大学医学部附属病院

【研究代表者】

埼玉医科大学総合医療センター 血液内科 得平 道英

【当院の研究責任者】

血液内科 仲里 朝周

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 血液内科 仲里 朝周

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。